

科 目 名	建築計画ⅡA							学 期	前 期
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士建築計画の範囲を学ぶ。								
授業内容	一級建築士建築計画の範囲を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の建築計画と二級建築施工管理技士補の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 令和6年度版 1級建築士試験 学科Ⅰ新体系テキスト(計画)、TAC 過去問 年度別問題集(計画)、総合資格学院 必修項目習得講座テキスト、								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	1 建築士の職責・業務	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	2 建築物の環境共生	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	3 マネジメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	4-2 集合住宅	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	5 公共建築	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	5-8 公共建築の事例	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	4-3 劇場	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	7-2 面積算定・寸法設計の概要	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	確認テスト④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	10 積算 8 都市計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	9 建築史	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト⑤	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他									

科目名	建築総合演習ⅡB							学期	後期
担当教員	アドバイザー	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	校外研修や企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。								
授業内容	通年を通して実施される学科イベントに参加する。								
学習目標	学科活動に積極的に参加できる。校内外の人とコミュニケーションがとれる。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	イベント演習								
2	イベント演習								
3	イベント演習								
4	イベント演習								
5	イベント演習								
6	イベント演習								
7	イベント演習								
8	イベント演習								
9	イベント演習								
10	イベント演習								
11	イベント演習								
12	イベント演習								
13	イベント演習								
14	イベント演習								
15	イベント演習								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題 50 %			課題及びレポートを評価する					
	2. 授業姿勢 30 %			無欠席での参加 身だしなみ・挨拶等ビジネスマナー					
	3. テストその他 20 %			イベント演習の成果を評価する					
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施	不定期に実施される学科イベントがある場合がある。								

